

第4章 授業妨害・拒否の予防

授業妨害・拒否を未然に防ぐためには、日ごろから学級経営、学習指導、保護者との連携などの充実を図っていく必要がある。授業妨害・拒否の予防のために、学級の見直し、子どもとの信頼関係、授業における子ども同士の人間関係、学校の指導体制、保護者の啓発、地域との連携・協力の視点からその具体策を述べる。

1 学級をどのように見直したらよいか

(1) 見直しの観点

① 学級のモラル（士気）、学級の凝集度（まとまり）の視点から

- あなたの学級は、運動会や学芸会で、みんなで盛り上がりますか。
- 子どもたちは、学級のきまりを守って生活をしていますか。
- 休み時間には、子どもたちが教師の周りに寄ってきて話をしますか。
- 先生が「さあ、次にこれを」と子どもに呼びかけたとき、さっと注目しますか。
- 授業中、子どもたちは、積極的に手を挙げたり、課題に取り組んだりしますか。
- 休み時間にポツンとしている子どもがいるとき、周囲の子どもたちは、声をかけたり遊びに誘ったりしますか。
- けんかがあったときに、周囲の子どもたちは、止めに入りますか。
- 仲間外れはありませんか。
- 自己中心的で勝手なことを言う子どもの発言に振り回されることはありませんか。
- 学習や行事で、普段とは別のグループと一緒にになったときでも、子どもたちは協力して取り組むことができますか。

② 集団の中で個々の子どもの特性をとらえる視点から

- ちょっとしたことでも、すぐにカッしたり、キレたりする子どもはいませんか。
- おどおどしていたり、表情が固かったり、不安そうな子どもはいませんか。
- 少しのことで根にもったり、物事を否定的にとらえたり、時には被害者意識を強くもったりする子どもはいませんか。
- 集団の中に入れず、いつも孤立している子どもはいませんか。
- 学級の中でみんなと歩調があわず、イライラした子どもたちが、仲間になって行動することがよく見られませんか。

③ 教師自身のかかわり方を振り返る視点から

- 今日一日、一人一人の子ども全員に声をかけましたか。
- 子どもたちの友人関係や、授業以外のときの子どもの様子を把握していますか。
- 一人一人の子どもの今学期よかったことを、具体的場面をあげて言えますか。
- 学級の子どもが保健室を利用したとき、養護教諭から情報を得ていますか。
- ざっくばらんに意見が言えるような保護者会にしていますか。

(2) 見直しのための方法

① 子どもとかかわり観察する

- 教師自身が子どもたちと一緒に遊び、子どもの心情を把握する。
- 子どもの興味・関心のあることに、教師も積極的に関心をもち、共に活動しながら観察する。

② 子どもたちの人間関係を把握する

- 子どもたちの日ごろの仲間関係を思い浮かべて図に描いてみる。仲間関係の位置が分かりにくい子どもについては、教師との関係、子ども同士の関係をもう一度見直す。
- 孤立している子どもはいないか、中でもイライラ感が高くて孤立している場合は早期の対応が必要である。まずは、教師が孤立した子どもとかかわりを多くもつ。
- イライラ感の高い子どもがグループを作っているときは、引き離すよりも、グループ全体にかかわって、子どもたちの気持ちを理解し、具体的な場面で活躍の場を与えるなど、生産的な方向にエネルギーを向けられるようにする。

③ 子どもたちの良いところを記録にとる

- 登校時、休み時間、掃除、クラブ活動、下校時などに、教師が子どもと行動を共にし、様子を観察する。
- 1週間に1回、子どもたちの良いところの具体的な記録を作る。今日は○○さんと△△君というように、計画的に焦点化して子どもの様子をとらえる。
- 子どもの良いところを見つけたら、具体的にその場でほめる。

④ 気になる子どもとかかわりを増やす

- 一人でいる子どもや普段と様子が異なる子どもと話す時間を確保する。
- 教師が積極的に声をかけ、他の子どもやグループとの調整を図る。

2 子どもが教師に信頼を寄せるためにはどのようにしたらよいか

(1) 担任の真剣な態度が子どもの心を開く

① まずは教師が、子どもに心を開く

子どもたちは、担任の心を開いた話に親しみをもち信頼を寄せる。特に、教師の子ども時代の失敗や体験談については興味深く聞く。このような触れ合いをとおして、子どもは教師を身近に感じ、安心して自分のことを表現できるようになる。

② 教師は、授業等で行動の手本を示す

教師は、日ごろから子どもと接する中で、何事にも真剣に取り組む姿勢を示すことが大切である。特に、授業においては、全力で取り組むことにより子どもから一層の信頼を得ることができる。

(2) 授業の中で子どもを大切にす

① 子どもの発言をしっかり「傾聴」し、「受容」する

子どもの応答が教師の期待したものでない場合、十分に聴かないで「はい、他の人？」と別の子どもを指名したり、発言の途中で「〇〇〇ということね」とまとめてしまったりしがちである。これらは、子どもにとって不満がたまりやすいものである。一人の発言をみんなに返し、決して無視をしないで大切に扱う姿勢をもつことによって教師への信頼感が生まれてくる。

② 授業の開始、終了の時刻を守る

教師の都合で、終鈴後も授業を続行していることが見られる。休み時間は授業の緊張感から心も体も解放される子どもにとって貴重な時間である。時間を守ることは教師の基本であり、授業の中味の充実にもつながってくる。

(3) 「けじめ」について指導する

① 叱るべきところでは、きちんと叱る

集団生活には、お互い気持ちよく過ごすために一定のきまりが必要であり、それが守られていない場合はきちんとただす必要がある。教師が見逃すと、子どもはそれが正当化されたと受け止めたり見捨てられたと受け止めたりする。子どもは「教師の叱るべきは叱る姿勢」も求めている。

② 他人に迷惑をかけたならきちんとあやまらせる

他人に対して不利益や迷惑をかけたなら、そのことに対して具体的に「責任」をとらせる意味できちんとあやまらせる指導が重要である。子どもはこうしたことを繰り返し重ねることで、善悪を判断する力、人を思いやる心が育っていく。

3 授業において子ども同士の人間関係を豊かにするには どのようにしたらよいか

(1) 子どもが学び合い認め合う雰囲気を作る

① 子どもが安心して学習できる状況を作り出す

子どもが安心して学習できるようにするためには、子どもがよく分からないことをすぐに教師に聞くことができる状況を作ることである。そのためには、授業の中で失敗しても許されたり、意見等が言い合えたりする学習のルールを確立していくことが大切である。

② 子ども一人一人のよさを見付けほめる

子どもの学習状況を把握した上で、子どものよさを認め、ほめることが学習意欲を喚起させる上で効果的である。その際、子どもの学習内容や学習状況について意味付けたり価値付けたりしてほめることが大切である。このことによって、子どもは学習に自信をもつようになり、グループ活動等で他の子どもとのかかわりが活発になる。

③ 子ども同士の学び合いの場を意図的に作る

学習内容、方法がよく分かれば、子どもたちは意欲的になるが、話し合ったり教え合ったりする場を意図的に授業の中に設定することで、子どもたちの充実感や満足感は更に高まる。

学び合う場を設定することは、学習効果を上げるだけでなく、子ども同士の人間関係まで豊かにする。子ども同士が、一人一人の持ち味を認め、互いに学び合うことを積み重ねることが、子ども同士の結びつきを強めていくことになる。

(2) TT、学年合同授業、教科担任制など様々な指導形態を生かす

① 子どもを多面的にとらえる

一人一人の子どもには、得意なものもあれば、不得意とするものもある。子どものもつよさを引き出すためには、子どもを多面的にとらえることが必要である。担任一人で子どもを見るよりも、複数の教師で、子どもを丁寧に見る方が、子どもをよさを引き出すためにはより効果的である。

② 課題や方法に応じたグループ別の学習を通して人間関係を広げ深める

学習に遅れがちであったり、自分にあった学習スタイルによって学習できなかつたりすることは学習意欲の低下を招く。個人差に応じ個性を生かした学習指導の展開をより可能とするTTや学年合同授業等の実施は、子どもの学習意欲の向上や基礎的・基本的事項の習得に効果的である。さらに、複数の教師による指導は、課題や方法に応じたグループ別の学習をより容易にするとともに、この学習をとおして、子どもたちの人間関係を広げ深めるうえでも有効である。

4 情報収集と予防のシステムをどのように構築したらよいか

(1) 校長は、学校の経営方針の中で予防策を明確にする

① 学校経営方針に位置付ける

校長は、授業妨害・拒否の予防に向けた学級経営の充実について方針を明確に示し、教職員にその具体化を促すことが大切である。それを受けて教職員は、学年・学級経営案作成に際し、授業の充実、子ども同士の豊かな人間関係作りなどの予防策を盛り込み、定期的に経営評価を行い予防に努める必要がある。

② 自ら積極的に情報収集し対応する

校長・教頭が子どもとの触れ合い、教師との触れ合いを大切にし、あらゆる機会をとらえて子どもの様子、学級の様子を見抜き、的確に教職員を指導し対応することが大切である。

(2) 授業妨害・拒否に関する情報が円滑に流れるシステムを整備する

① 改めて「報告・連絡・相談」を徹底する

学級担任－学年主任－管理職へと情報が円滑に流れるようにシステムを整備しておく必要がある。このためには教職員が「報告・連絡・相談」の重要性を認識し実践することが大切である。その際、学級担任以外の養護教諭や専科教諭等からも子どもや学級の様子について情報が速やかに得られるようにしておく。

② 多角的に情報を収集する

校内研修の中に授業妨害・拒否の予防と対応についての内容を計画的に位置付け実施する。例えば、学級経営報告会や生活指導上の問題についての学級別報告会などを設定し、各教員が学級経営に関する問題事例を持ち寄り具体的な改善策を見いだせるようにする。

(3) 学年の中での協力体制を確立する

学級の子どもであると同時に学年の子どもでもあるとの認識に立ち、学級を開き学年全体で見ることにより、子どもや学級の変化をとらえ、素早い対応ができるようにしておく。また、学年の問題を校内共通の問題として問題解決が図られるように他学年、他の教師等の協力体制の整備に努める。

(4) 保護者や地域からの情報が入りやすいように多様な窓口をもつ

子どもや学級に関する情報が学校に入ってくるようにするために、投書箱の設置、学校だよりの地域への配布、電話、ファックス番号の地域への提示、校長室の開放等、多様な窓口を整備する。

5 学校と保護者との連携・協力をどのように進めたらよいか

(1) 子どもの気持ちを受け止め、安心感を与えるよう学校と保護者が連絡を取り合う

学校ではめられ認められた子どもたちは必ずやそのうれしさを保護者等に話したくなるものである。それを保護者がしっかり受け止めていく関係を作りたい。

また、学校と保護者は、子どもたちの様子について十分に連絡を取り合い、互いに過剰な期待をしていないか率直に話し合うなどして、子どもたちに安心感を与えるような接し方を目指していく必要がある。

(2) 保護者が我が子のみならず多くの子どもと直接かかわる機会を多くする

保護者が我が子のみならず他の子どもと触れ合う機会を多くもつことは、保護者自らが子育てを見直し、視野を広げる機会となる。

そのためには、学校公開やPTA主催の行事など、保護者が他の子どもとかかわる機会を増やし、子どもの理解を深めるとともに保護者同士の結びつきを強化していくきっかけとなるようにする。

(3) 保護者が担任だけでなく他の教師にも話しやすい雰囲気を作る

保護者の中には、担任とは話しにくいが他の教師なら話しやすい場合がある。また、保護者にとっては、担任だけでなく多くの教師と話すことによって、学校や子どもの様子をより正確に把握することができる。

保護者に学校や子どもについての理解を求める場合、担任だけではなく学年の教師や養護教諭などが、積極的に保護者に話しかけ、子どものことについての情報交換をすることが大切である。

このような教師の姿勢が、保護者にとって話しやすい雰囲気を作ることになり、保護者からの理解を得ることにもなる。

(4) 保護者同士が気軽に相談し合い、学び合う関係を作る

学校は、保護者会を互いに情報交換をし合う場として位置付けたり、親子見学会を実施したりするなど、できるだけ多くの保護者が出会い、交流する機会を積極的に作り出していくことが必要である。

このことにより、保護者同士が子育てについて、気軽に相談し、学び合うことができる雰囲気が生まれてくる。

6 地域のネットワーク作りをどのようにしたらよいか

(1) 学校・家庭・地域が、互いのことを知る機会を設ける

教師は、日々地域で教育活動をしているにもかかわらず、子どもの生活の場についての情報が十分に得られていない場合も少なくない。

そこで、学校は、子どもたちがよく集まる児童館などの社会教育施設やスーパー、コンビニエンスストアなどの責任者と情報交換をし、その内容について家庭にも伝えることが大切である。

(2) 地域の人々と子どもが理解し合う機会を作る

地域のネットワーク作りの第一歩は、子どもたちが地域を知ることである。そのために授業に地域の人材を活用するなどして、子どもたちが地域の人々とかかわる中で「地域の子ども」としての意識をもたせることが大切である。

また、運動会や展覧会などの学校行事を積極的に公開し、地域の人々に子どもを知ってもらうことも重要である。

(3) 様々な人と、目標をもった活動を行う

ある学校では、ごみについての授業を地域の商店の協力を得て、調査を行ったり買い物について考えたりする活動を行った。この学習の中で、保護者も協力したいとの申し出があり、子どもと保護者とで、地域のごみについて調べたりごみを出すときのマナーを呼びかけたりする活動に広がった。この活動を通して、子どもたちに対する地域の理解が深まり、子どもたちに声をかけ、共に活動する地域の人が増えていった。

このように、目標をもって地域の人々と活動することは、子どもに連帯感を育てるとともに、心の安定にもつながる。

(4) 相談する人（場所）を見つけておく

教師や保護者が、地域のネットワークを作りたいと思っても、どこから始めればよいか分からないという声を聞くことがある。「こんな活動をしたい」「こんなことを教えてほしい」と思ったときに、相談する人や場所を日ごろから知っておくこともネットワーク作りに大切である。各地域には、社会教育の様々な施設の役員や、行政の委員や役員をしている人がいる。このような人や場所についての情報を得ておくと同時に、積極的にかかわりをもっていくことが有効である。

研究のまとめと提言

本研究で明らかになったことを整理しまとめると以下のとおりである。

○ まとめ

1 子ども、教師、保護者の信頼関係を築く

授業妨害・拒否は、学級を舞台とした子ども、教師、保護者の関係性の問題としてとらえることにより、問題の本質に迫ることができる。したがって、問題解決への取り組みは、当事者間の関係をいかに修復・改善し、信頼関係を築くかが鍵である。

2 授業の改善・充実を図る

授業妨害・拒否は、子どもと教師との信頼関係が崩れ、授業が成立しなくなり、学級経営が困難になることである。したがって、授業の改善・充実に取り組み、正常な学級経営の機能を回復することが重要である。

3 学校・学級を開き、関係者のネットワークを強化する

教師、学校の閉鎖性が、この問題の解決を難しくしている。問題解決のためには、学級を他の教師に開く、保護者に開く、地域に開くなど、学級の壁を低くし、学校、家庭、地域、関係機関などのネットワークを強化する取り組みが重要である。

以上のまとめを受けて、7項目の提言を以下に示す。

○ 提言

【教師へ】

1 子ども一人一人にとって存在感がもてるような学級を作ろう

授業妨害・拒否の多くは、教師と子どもとの心のきずなが断ち切れるところに起因している。教師と子ども、子ども同士の間信頼関係を築くとともに、学級という集団のよさにも気付かせ一人一人の子どもの居場所をつくる。

2 子どもが学習意欲をもち授業に集中できるように絶えず授業改善に努めよう

授業からの離脱、妨害行動の要因の一つとして、子どもが授業に魅力を感じない、授業の内容が分からないということがある。教師は、一人一人の子どもが授業に魅力を覚え、学習に意欲的に取り組むよう、指導の工夫・改善に絶えず努める必要がある。

【学校へ】

3 学校として各学級の状態を定期的に見直す取り組みを進めよう

授業妨害・拒否は直接には当該学級担任と子どもとの関係の問題であるが、組織体としての学校の取り組みが問われている、と考えることが重要である。対応への共通理解に立って、学校内部のネットワークを強化していく必要がある。例えば、授業改善においては、各教師が互いの授業を見合い、振り返るなど学級経営の評価を定期的に行う必要がある。

4 保護者会や学校運営連絡協議会等を活用し、学校を開くための行動を起こそう

保護者会、学校運営連絡協議会等で学校の授業妨害・拒否についての取り組みについても報告・協議事項として取り上げ、学校としての説明責任を果たしていく必要がある。また、関係者間の共通認識のもとに役割を明確にし、問題の解決に当たることが必要である。

【保護者へ】

5 学校の教育活動に積極的に参加しよう

保護者は、授業妨害・拒否についての学校の取り組みについて正確に把握することが大切である。このため、保護者会等に積極的に参加し学校の方針、改善策について説明を求めるとともに、理解・協力をしていくことが望まれる。

6 保護者同士の結びつきを強化し、率直に意見を述べ合い協力して問題解決に当たろう

保護者同士が率直に意見を述べ合い、互いに協力しあっている学級では、子どもも安定し、生き生きとした学校生活を送ることができる。授業妨害・拒否を、特定の子どもと学級担任の問題とするのではなく、皆が当事者意識をもって問題の解決に向けて協力していくことが重要である。そのためにも、日ごろから保護者同士が協力関係を築くために、教師は積極的に支援をしていく必要がある。

【社会へ】

7 社会全体の問題として各々が関心をもち学校を支援するための行動を起こそう

授業妨害・拒否の問題の背景には、耐性、規範意識の欠如など急激な社会変化の中での子どもの変化もその要因の一つとしてあげることができる。また、少子化、社会体験の不足に伴う子育ての問題などもこの問題とかがかかわっている。家庭、学校のみならず、社会全体の問題として、関係者、関係諸機関の問題解決への連携・協力が必要である。

資料、引用・参考文献

- 【資料1】子どもたちの心理と行動に関する調査（第1回）調査用紙
- 【資料2】子どもたちの心理と行動に関する調査（第2回）調査用紙
- 【資料3】子どもたちの心理と行動に関する調査（1・2年生用）聞き取り調査用紙
- 【資料4】子どもたちの心理と行動に関する調査（第1回）調査結果
- 【資料5】子どもたちの心理と行動に関する調査（第2回）調査結果
- 【資料6】集団生活のきまりや基本的な生活習慣についての調査（保護者用）調査用紙
- 【資料7】集団生活のきまりや基本的な生活習慣についての調査・調査結果(1)
- 【資料8】集団生活のきまりや基本的な生活習慣についての調査・調査結果(2)

引用・参考文献一覧

【資料1】子どもたちの心理と行動に関する調査（第1回）調査用紙

この調査は、小学生のみなさんが日ごろ、どのような気持ちで過ごしているのかを知るために都立教育研究所がおこなうものです。一問ずつ、すべての項目について答えてください。

年 組 性別 () 氏名

【I】あなたは、次のようなことがありますか。ア、イ、ウの中からあてはまるものを一つ選んで○をつけてください。

	よくある	時々ある	ない
(1) 学校は楽しいと思う。	ア	イ	ウ
(2) 先生はわたしのことを理解してくれる。	ア	イ	ウ
(3) わけもなくムカつく（腹が立つ）。	ア	イ	ウ
(4) 友だちから仲間はずれにされるのではないかと心配になる。	ア	イ	ウ
(5) 外で、思いきり遊ぶ。	ア	イ	ウ
(6) 小さなことでも、くよくよ考えてしまう。	ア	イ	ウ
(7) わたしには、よいところがあると思う。	ア	イ	ウ
(8) 勉強のことで、イライラする。	ア	イ	ウ
(9) 友だちみんなに注目されたいと思う。	ア	イ	ウ
(10) 何をやっても、うまくいかないような気がする。	ア	イ	ウ

(11) わたしは、うちの人に大争にされていると思う。	ア	イ	ウ
(12) 何となく大声を出したくなる。	ア	イ	ウ
(13) 友だちに合わせないかと、心配になる。	ア	イ	ウ
(14) 先生はとてもおもしろいと思う。	ア	イ	ウ
(15) いつも緊張している。	ア	イ	ウ
(16) 人のいやがることを言いたくなる。	ア	イ	ウ
(17) わたしは自分のことが好きだと思う。	ア	イ	ウ
(18) 友だちにムカつく（腹が立つ）。	ア	イ	ウ
(19) 一人ではやらないことでも、みんなと一緒にやってみよう。	ア	イ	ウ
(20) 遊んで、すっきりする。	ア	イ	ウ

	よくある	時々ある	ない
(49) 友だちから、暗いと思われぬように、明るくふるまっている。	ア	イ	ウ
(50) 何をやっても楽しくない。	ア	イ	ウ
(51) 楽しくさわいで遊ぶ。	ア	イ	ウ
(52) 何でもないのでイライラする。	ア	イ	ウ
(53) 友だちと一緒にいると、ふだんの自分とちがってしまう。	ア	イ	ウ
(54) 先生にほめられるとうれしい。	ア	イ	ウ

【II】 次のようなとき、あなたがよくすること（行動）を、一つ選んで○をつけてください。

1. おうちで イライラしたとき	① がまんしたり、何もせずに寝てしまったりする。		
	② 運動をしたり、好きなことをしたりして遊ぶ。		
	③ 物や家族にあたってたり、あべれたりする。		
2. 学級（学校）で イライラしたとき	① がまんする。		
	② 友だちと話したり、休み時間に思いきり遊んだりする。		
	③ 大声をだしたり、さわいだりする。		
3. 授業中さわいでいる 友だちを見たとき	① しかたがないと、あきらめる。		
	② やめるように注意する。		
	③ 気にならない。		
	④ おもしろいと思う。		
	⑤ 先生に、もっと注意してほしいと思う。		
	⑥ いっしょになってきわぐ。		
	⑦ ムカつく（腹が立つ）。		

【III】 あなたはこの学級の中で誰とよく遊びますか。よく遊ぶ頃に友だちの名前を書いて下さい。

友だちの名前



	よくある	時々ある	ない
(21) やらなくてはいけないことが多すぎる。	ア	イ	ウ
(22) 先生が話しかけてくれる。	ア	イ	ウ
(23) 思いきり、あべれまわりたくなる。	ア	イ	ウ
(24) 友だちに、言いたいことを言えない。	ア	イ	ウ
(25) 汗をかいて遊ぶ	ア	イ	ウ
(26) 泣きたくなることもある。	ア	イ	ウ
(27) わたしは、友だちからたよりにされる。	ア	イ	ウ
(28) キレる（がまんできなくなる）ことがある。	ア	イ	ウ
(29) 友だちの中で、目立ちたくないと思う。	ア	イ	ウ
(30) 何となく不安になる。	ア	イ	ウ

(31) わたしは、みんなから好かれていと思う。	ア	イ	ウ
(32) 先生にムカつく（腹が立つ）。	ア	イ	ウ
(33) 友だちが、自分をどう思っているか気になる。	ア	イ	ウ
(34) 授業中さわぎたくなる。	ア	イ	ウ
(35) 何となくさびしい気持ちになる。	ア	イ	ウ
(36) わたしは、人の役に立つと思う。	ア	イ	ウ
(37) 物にあたってしまう。	ア	イ	ウ
(38) 悪いと思ったことでも、友だちと一緒にだとやめられない。	ア	イ	ウ
(39) 寝ている感じがする。	ア	イ	ウ
(40) 先生が言うことには「なるほど」と思う。	ア	イ	ウ

(41) 今の自分を気に入っていると思う。	ア	イ	ウ
(42) 何もかも投げ出したくなる。	ア	イ	ウ
(43) 友だちがムカついている（腹を立てている）と、自分もムカつく。	ア	イ	ウ
(44) ムシクシしてでなぐりたくなる。	ア	イ	ウ
(45) いやなことがおきそうな気がする。	ア	イ	ウ
(46) わたしは何でもうまくやれると思う。	ア	イ	ウ
(47) 家族にムカつく（腹が立つ）。	ア	イ	ウ
(48) 体をつかって遊ぶ。	ア	イ	ウ

【IV】 次の(1)から(9)のことについて、ア・イ・ウ・エの中からあてはまるものを一つ選んで○をつけてください。

	よくある	時々ある	あまりない	まったくない
(1) あなたの学級は、明るく楽しいと思いますか。	ア	イ	ウ	エ
(2) あなたの学級は、よくまとまっていると思いますか。	ア	イ	ウ	エ
(3) あなたの学級の人たちは、なかよく、助け合っていると思いますか。	ア	イ	ウ	エ
(4) あなたの学級の人たちは、あなたに親切にしてくれますか。	ア	イ	ウ	エ
(5) あなたは学級のみんなと一緒に、遊んだり活動したりしていますか。	ア	イ	ウ	エ
(6) あなたの学級には、あなたが、「いい人だな」と思う人がいますか。	ア	イ	ウ	エ
(7) あなたは、学校で勉強していて、わかってくると楽しいと思いますか。	ア	イ	ウ	エ
(8) あなたは、授業中、先生にあてられるのは、好きですか。	ア	イ	ウ	エ
(9) あなたは、もっと勉強してよい成績をとろうと努力していると思いますか。	ア	イ	ウ	エ

ご協力ありがとうございました。



【資料2】子どもたちの心理と行動に関する調査（第2回）調査用紙

この調査は、小学生のみさんが日ごろ、どのような気持ちで過ごしているのかを知るために都立教育研究所がおこなうものです。一問ずつ、すべての項目について答えてください。

年 組 性別 () 氏名

【I】 あなたは、次のようなことがありますか。ア、イ、ウの中からあてはまるものを一つ選んで○をつけてください。

	よくある	時々ある	ない
(1) 学校は楽しいと思う。	ア	イ	ウ
(2) 先生はわたしのことを理解してくれる。	ア	イ	ウ
(3) わけもなくムカつく(腹が立つ)。	ア	イ	ウ
(4) 友だちから仲間はずれにされるのではないかと心配になる。	ア	イ	ウ
(5) 小さなことでも、よくよく考えてしまう。	ア	イ	ウ
(6) わたしには、よいところがあると思う。	ア	イ	ウ
(7) 勉強のことで、イライラする。	ア	イ	ウ
(8) 友だちみんなに注目されたいと思う。	ア	イ	ウ
(9) 何をやっても、うまくいかないような気がする。	ア	イ	ウ
(10) わたしは、うちの入に大事にされていると思う。	ア	イ	ウ

(11) 何となく大声を出したくなる。	ア	イ	ウ
(12) 友だちに合せていないと、心配になる。	ア	イ	ウ
(13) 先生はとてもおもしろいと思う。	ア	イ	ウ
(14) いつも緊張している。	ア	イ	ウ
(15) 人のいやがることを言いたくなる。	ア	イ	ウ
(16) わたしは自分のことが好きだと思う。	ア	イ	ウ
(17) 友だちにムカつく(腹が立つ)。	ア	イ	ウ
(18) 一人ではやらないことでも、みんなと一緒にやってしまう。	ア	イ	ウ
(19) やらなくてはいけないことが多すぎる。	ア	イ	ウ
(20) 先生が話しかけてくれる。	ア	イ	ウ

【II】 次のようなとき、あなたがよくすること(行動)を、一つ選んで○をつけてください。

1. おうちで イライラしたとき	① がまんしたり、何もしないで寝てしまったりする。		
	② 運動をしたり、好きなことをしたりして遊ぶ。		
	③ 物や家族にあたりたり、あはれたりする。		
2. 学級(学校)で イライラしたとき	① がまんする。		
	② 友だちと話したり、休み時間に思いきり遊んだりする。		
	③ 大声をだしたり、さわりたりする。		
3. 授業中さわいでいる 友だちを見たとき	① しかたがないと、あきらめる。		
	② やめるように注意する。		
	③ 気にならない。		
	④ おもしろいと思う。		
	⑤ 先生に、もっと注意してほしいと思う。		
	⑥ いっしょになってさわぐ。		
	⑦ ムカつく(腹が立つ)。		

【III】 あなたはこの学級の中で誰とよく遊びますか。よく遊ぶ順に友だちの名前を書いて下さい。



友だちの名前

【IV】 次の質問に答えて下さい。

① 担任の先生がしてくれたことで、あなたが一番うれしかったことは、どんなことですか。

② 担任の先生に、あなたがしてほしいと思うことはどんなことですか。

	よくある	時々ある	ない
(21) 思いきり、あはれまわりたくなる。	ア	イ	ウ
(22) 友だちに、言いたいことを言えない。	ア	イ	ウ
(23) 泣きたくなくなることもある。	ア	イ	ウ
(24) わたしは、友だちからたよりにされる。	ア	イ	ウ
(25) キレる(がまんできなくなる)こともある。	ア	イ	ウ
(26) 友だちの中で、目立ちたくないと思う。	ア	イ	ウ
(27) 何となく不安になる。	ア	イ	ウ
(28) わたしは、みんなから好かれていと思う。	ア	イ	ウ
(29) 先生にムカつく(腹が立つ)。	ア	イ	ウ
(30) 友だちが、自分をどう思っているか気になる。	ア	イ	ウ

(31) 授業中さわぎたくなる。	ア	イ	ウ
(32) 何となくさびしい気持ちになる。	ア	イ	ウ
(33) わたしは、人の役に立つと思う。	ア	イ	ウ
(34) 物にあたってしまう。	ア	イ	ウ
(35) 悪いと思ったことでも、友だちと一緒にだめやめられない。	ア	イ	ウ
(36) 疲れている感じがする。	ア	イ	ウ
(37) 先生の言うことには「なるほど」と思う。	ア	イ	ウ
(38) 今の自分を気に入っていると思う。	ア	イ	ウ
(39) 何もかも投げ出したくなる。	ア	イ	ウ
(40) 友だちがムカついている(腹を立てている)と、自分もムカつく。	ア	イ	ウ

(41) ムシャクシャしてなぐりたくなる。	ア	イ	ウ
(42) いやなことがおきそうな気がする。	ア	イ	ウ
(43) わたしは何でもうまくやれると思う。	ア	イ	ウ
(44) 家族にムカつく(腹が立つ)。	ア	イ	ウ
(45) 友だちから、暗いと思われないように、明るくふるまっている。	ア	イ	ウ
(46) 何をやっても楽しくない。	ア	イ	ウ
(47) 何でもないのにイライラする。	ア	イ	ウ
(48) 友だちと一緒にいると、ふだんの自分とちがってしまう。	ア	イ	ウ
(49) 先生にほめられるとうれしい。	ア	イ	ウ

【V】 次の(1)から(9)のことについて、ア・イ・ウ・エの中からあてはまるものを一つ選んで○をつけてください。

	よくある	時々ある	あまりない	まったくない
(1) あなたの学級は、明るく楽しいと思いますか。	ア	イ	ウ	エ
(2) あなたの学級は、よくまとまっていると思いますか。	ア	イ	ウ	エ
(3) あなたの学級の人たちは、なかよく、助け合っていると思いますか。	ア	イ	ウ	エ
(4) あなたの学級の人たちは、あなたに親切にしてくれますか。	ア	イ	ウ	エ
(5) あなたは学級のみんなと一緒に、遊んだり活動したりしていますか。	ア	イ	ウ	エ
(6) あなたの学級には、あなたが、「いい人だな」と思う人がいますか。	ア	イ	ウ	エ
(7) あなたは、学校で勉強していて、わかってくると楽しいと思いますか。	ア	イ	ウ	エ
(8) あなたは、授業中、先生にあてられるのは、好きですか。	ア	イ	ウ	エ
(9) あなたは、もっと勉強してよい成績をとろうと努力していると思いますか。	ア	イ	ウ	エ

ご協力ありがとうございました。



1・2年生用 聞き取り調査

実施日 ()月()日 面接者()

年 組	名前
I① 学校、楽しいかな。 YES ・ ? ・ NO () ② 〈入学前後の、子どもの感じるギャップ。〉	
II ○○さんと同じ組の中で、よく遊ぶお友達是谁かな。名前を教えてくださいかな。 () () ()	
III① 「イライラする」ってわかるかな。 YES ・ NO NOの場合 → いいかえて説明。 ムカつく 腹がたつ 怒りたい いやーと思うとき 等 ② そういうことは、よくあるの。 よくある ・ ときどきある ・ ない ③ そういう時って、どんなときかな、教えて。 ④ その時、○○さんは、どうしたの。	

IV① (絵を示して質問する)
② (絵を示して質問する)
V① ○○先生がしてくれたことで、あなたが一番、うれしいなと思ったとは、 どんなことかな。 ② ○○先生に、あなたはどんなことをしてほしいと思うかな。
子どもの印象

【資料3】子どもたちの心理と行動に関する調査(1・2年生用)聞き取り調査用紙

第1回質問紙調査結果 (調査対象数: 3校834名)

【I】あなたは、次のようなことがよくありますか。 (表中の数字は、項目毎の834名の選択肢別回答率。)

		よくある	時々ある	ない
イライラ感	(62) 何でもないのでイライラする。	9.0	24.2	66.8
	(3) わけもなくムカつく(腹が立つ)。	8.0	29.9	62.1
	(28) キレる(がまんできなくなる)ことがある。	18.1	47.3	34.6
	(12) 何となく大声を出したくなる。	23.7	35.5	40.8
	(23) 思いきり、暴れまわりたいくなる。	18.3	31.0	50.7
	(32) 先生にムカつく(腹が立つ)。	37.1	25.9	37.0
	(47) 家族にムカつく(腹が立つ)。	9.4	36.3	54.3
	(18) 友だちにムカつく(腹が立つ)。	15.1	49.8	35.1
	(8) 勉強のことで、イライラする。	14.6	44.2	41.2
	(34) 授業中騒ぎたくなる。	8.5	21.8	69.7
不安・抑うつ感	(37) 物にあたってしまふ。	17.2	42.8	40.0
	(16) 人のいやがることを言いたくなる。	6.8	42.3	50.9
	(44) ムシャクムシャしてなぐりたくなる。	14.2	26.3	59.5
	(42) 何もかも投げ出したくなる。	11.4	27.5	61.1
	(10) 何をやってもうまくいかないような気がする。	13.4	50.3	36.3
	(45) いやなことがおきそうな気がする。	23.2	44.8	32.0
	(6) 小さなことでも、くよくよ考えってしまう。	16.8	44.2	39.0
	(30) 何となく不安になる。	19.5	43.6	36.9
	(21) やらなくてはいけないことが多い。	34.9	51.9	13.2
	(15) いつも緊張している。	7.1	40.8	52.1
自己肯定感	(35) 何となくさびしい気持ちになる。	13.6	32.4	54.0
	(50) 何をやっても楽しくない。	3.5	31.5	65.0
	(26) 泣きたくなることがある。	20.0	49.1	30.9
	(39) 疲れている感じがする。	35.5	39.5	25.0
	(7) わたしにはよいところがあると思う。	23.4	61.0	15.6
	(31) わたしはみんなから好かれていると思う。	6.4	42.8	50.8
	(46) わたしは何でもうまくやれると思う。	6.5	43.7	49.8
	(17) わたしは自分のことが好きだと思う。	27.5	44.5	28.0
	(41) 今の自分を気に入っていると思う。	23.7	44.5	31.8
	(36) わたしは人の役に立つと思う。	9.6	50.3	40.1
集団の影響性	(11) わたしはうちの人に大事にされていると思う。	60.9	34.1	5.0
	(2) 先生はわたしのことを理解してくれる。	36.5	55.1	8.4
	(27) わたしは友だちからたよりにされている。	7.9	50.9	41.2
	(13) 友だちに合わせたくない、心配になる。	14.5	37.8	47.7
	(43) 友だちがムカついている(腹を立てている)と、自分もムカつく。	11.2	26.7	62.1
	(29) 友だちの中で、目立ちたくないと思う。	22.5	46.2	31.3
	(24) 友だちに言いたいことを言えない。	24.9	43.7	31.4
	(33) 友だちが、自分をどう思っているか気になる。	32.7	41.8	25.5
	(49) 友だちから、暗いと思われたいように、明るくふるまっている。	16.0	28.8	55.2
	(53) 友だちと一緒にいると、ふだんの自分とちがってしまう。	20.3	40.5	39.2
遊び	(9) 友だちみんなに注目されたいと思う。	8.7	32.7	58.6
	(38) 悪いと思ったことでも、友だちと一緒にだとやめられない。	12.1	32.9	55.0
	(19) 一人でやらないことでも、みんなと一緒にだとやってしまう。	26.6	46.1	27.3
	(4) 友だちから仲間はずれにされるのではないかと心配になる。	16.1	33.6	50.3
	(5) 外で思いきり遊ぶ。	57.0	39.5	3.5
	(20) 遊んで、すっかり遊ぶ。	66.7	24.6	8.7
	(25) 汗をかいて遊ぶ。	53.9	38.0	8.1
	(48) 体をつかって遊ぶ。	54.4	38.5	7.1
	(51) 楽しくさわいで遊ぶ。	51.4	38.2	10.4
	(2) 先生はわたしのことを理解してくれる。	36.5	55.1	8.4
教師との関係	(14) 先生はとてもおもしろいと思う。	49.1	36.1	14.8
	(32) 先生が話しかけてくれる。	25.3	61.1	13.6
	(22) 先生にムカつく(腹が立つ)。 (*逆転項目)	37.0	26.0	37.0
	(40) 先生の言うことには「なるほど」と思う。	39.5	51.3	9.2
	(54) 先生にはめられるとうれしい。	54.4	33.1	12.5
他	(1) 学校は楽しいと思う。	52.5	44.1	3.4

【II】 次のようなとき、あなたがよくすること(行動)を、一つ選んで○をつけてください。(表中の数字は、項目毎の834名の選択肢別回答率)

1. おうちで イライラしたとき	① がまんしたり、何もせずに寝てしまったりする。	27.6
	② 運動をしたり、好きなことをしたりして遊ぶ。	56.0
	③ 物や家族にあたりたり、あばれたりする。	16.4
2. 学級(学校)で イライラしたとき	① がまんする。	37.1
	② 友だちと話したり、休み時間に思いきり遊んだりする。	56.6
	③ 大声をだしたり、さわいだりする。	6.3
3. 授業中さわいでいる 友だちを見たとき	① しかたがないと、あきらめる。	9.9
	② やめるように注意する。	34.7
	③ 気にならない。	12.9
	④ おもしろいと思う。	3.7
	⑤ 先生に、もっと注意してほしいと思う。	17.7
	⑥ いっしょになってさわぐ。	2.7
	⑦ ムカつく(腹が立つ)。	18.4

【III】 あなたはこの学級の中で誰とよく遊びますか。よく遊ぶ頃に友だちの名前を書いて下さい。(自由記述のため、省略)

【IV】 次の(1)から(9)のことについて、ア・イ・ウ・エの中からあてはまるものを一つ選んで○をつけてください。

	ア とても 思う	イ 少し 思う	ウ あまり 思わない	エ まったく 思わない	学級の モラル (士気) 平均点 17.93 標準偏差 4.85
(1) あなたの学級は、明るく楽しいと思いますか。	46.8	38.9	11.4	2.9	
(2) あなたの学級は、よくまとまっていると思いますか。	9.3	40.0	39.6	11.1	
(3) あなたの学級の人たちは、なかよく、助け合っていると思いますか。	18.8	46.5	26.9	7.8	
(4) あなたの学級の人たちは、あなたに親切にしてくれますか。	21.9	44.8	24.1	9.2	
(5) あなたは学級のみんなと一緒に、遊んだり活動したりしていますか。	47.1	38.0	12.0	2.9	
(6) あなたの学級には、あなたが、「いい人だな」と思う人がいますか。	48.8	27.4	16.9	6.9	
(7) あなたは、学校で勉強していて、わかってくると楽しいと思いますか。	55.1	26.4	12.6	5.9	
(8) あなたは、授業中、先生にあてられるのは、好きですか。	21.0	34.2	28.5	16.3	
(9) あなたは、もっと勉強してよい成績をとろうと努力していると思いますか。	42.5	36.1	15.1	6.3	

(表中の数字は、項目毎の834名の選択肢別回答率。)

質問項目【I】は、子どもたちのイライラ感や、心性をとらえるための項目であり、表の右にそれぞれの項目を得点化した後の平均点と標準偏差を示した。
 質問項目【II】は、子どもたちのイライラした時の対処のし方をとらえるための項目である。
 質問項目【III】は、子どもたちの人間関係をとらえるための項目であり、これにより凝集度を算出した。
 質問項目【IV】は、学級のモラル(士気)をとらえるための項目である。表の右にそれぞれの項目を得点化した後の平均点と標準偏差を示した。

なお、質問項目【I】の「遊び」については、さまざまな検討をしてみたが、特筆すべき結果は得られなかったもので、本文中ではふれていない。

【資料4】子どもたちの心理と行動に関する調査(第1回) 調査結果

第2回質問紙調査結果 (調査対象数: 1校218名)

【I】あなたは、次のようなことがよくありますか。(表中の数字は、項目毎の834名の選択肢別回答率。)

		よくある時々ある	ない	
イライラ感	(47) 何でもないのでイライラする。	2.8	19.4	77.8
	(3) わけもなくムカつく(腹が立つ)。	5.5	28.1	66.4
	(25) キレる(がまんできなくなる)ことがある。	14.3	41.5	44.2
	(11) 何となく大声を出したくなる。	12.9	36.9	50.2
	(21) 思いきり、暴れまわりたくなる。	10.1	28.1	61.8
	(29) 先生にムカつく(腹が立つ)。	6.5	25.8	67.7
	(44) 家族にムカつく(腹が立つ)。	8.8	33.2	58.0
	(17) 友だちにムカつく(腹が立つ)。	9.3	52.3	38.4
	(7) 勉強のことで、イライラする。	12.5	42.1	45.4
	(31) 授業中騒ぎたくなる。	2.3	18.9	78.8
不安・抑うつ感	(34) 物にあたってしまう。	12.9	39.2	47.9
	(15) 人のいやがることを言いたくなる。	3.7	37.3	59.0
	(41) ムシャクシャしてなぐりたくなる。	6.0	22.6	71.4
	(39) 何もかも投げ出したくなる。	8.8	25.3	65.9
	(9) 何をやってもうまくいかないような気がする。	10.1	42.9	47.0
	(42) いやなことがおきそうな気がする。	18.0	42.4	39.6
	(5) 小さなことでも、くよくよ考えてしまう。	12.9	45.2	41.9
	(27) 何となく不安になる。	16.6	40.1	43.3
	(19) やらなくてはいけないことが多すぎる。	22.1	42.9	35.0
	(14) いつも緊張している。	4.6	26.9	68.5
自己肯定感	(32) 何となくさびしい気持ちになる。	12.9	31.3	55.8
	(46) 何をやっても楽しくない。	2.3	29.0	68.7
	(23) 泣きたくなることがある。	15.7	43.3	41.0
	(36) 疲れている感じがする。	32.7	39.2	28.1
	(6) わたしにはよいところがあると思う。	19.0	61.6	19.4
	(28) わたしはみんなから好かれていると思う。	7.9	44.4	47.7
	(43) わたしは何でもうまくやれると思う。	6.5	40.7	52.8
	(16) わたしは自分のことが好きだと思う。	35.6	44.5	19.9
	(38) 今の自分を気に入っていると思う。	34.1	41.9	24.0
	(33) わたしは人の役に立つと思う。	6.0	54.6	39.4
集団の影響性	(10) わたしはうちの人に大事にされていると思う。	60.2	35.2	4.6
	(2) 先生はわたしのことを理解してくれる。	31.3	59.9	8.8
	(24) わたしは友だちからたよりにされている。	8.3	54.8	36.9
	(12) 友だちにに合っていないと、心配になる。	6.9	34.6	58.5
	(40) 友だちがムカついている(腹を立てている)と、自分もムカつく。	4.6	23.5	71.9
	(26) 友だちの中で、目立ちたくないと思う。	28.2	35.2	36.6
	(22) 友だちに言いたいことを言えない。	16.6	43.8	39.6
	(30) 友だちが、自分をどう思っているか気になる。	29.5	42.9	27.6
	(45) 友だちから、暗いと思われないように、明るくふるまっている。	9.2	30.4	60.4
	(48) 友だちと一緒にいると、ふだんの自分とちがってしまう。	15.2	32.7	52.1
教師との関係	(8) 友だちみんなに注目されたいと思う。	7.4	30.0	62.6
	(35) 悪いと思ったことでも、友だちと一緒にだとやめられない。	4.6	27.2	68.2
	(18) 一人ではやらないことでも、みんなと一緒にだとやってしまう。	16.1	48.9	35.0
	(4) 友だちから仲間はずれにされるのではないかと心配になる。	10.5	35.8	53.7
	(2) 先生はわたしのことを理解してくれる。	31.3	59.9	8.8
	(13) 先生はとてもおもしろいと思う。	26.9	50.0	23.1
	(20) 先生が話しかけてくれる。	18.9	65.0	16.1
	(29) 先生にムカつく(腹が立つ)。【*逆転項目】	6.5	25.8	67.7
	(37) 先生の言うことには「なるほど」と思う。	38.2	53.0	8.8
	(49) 先生にはめられるとうれしい。	51.2	38.2	10.6
(1) 学校は楽しいと思う。	57.2	38.7	4.1	

【II】次のようなとき、あなたがよくすること(行動)を、一つ選んで○をつけてください。(表中の数字は、項目毎の218名の選択肢別回答率)

1. おうちでイライラしたとき	① がまんしたり、何もせずに寝てしまったりする。	26.2
	② 運動をしたり、好きなことをしたりして遊ぶ。	59.3
	③ 物や家族にあたりたり、あばれたりする。	14.5
2. 学級(学校)でイライラしたとき	① がまんする。	30.6
	② 友だちと話したり、休み時間に思いきり遊んだりする。	64.8
	③ 大声をだしたり、さわいだりする。	4.6
3. 授業中ささいでいる友だちを見たとき	① しかたがないと、あきらめる。	8.8
	② やめるように注意する。	36.9
	③ 気にならない。	13.8
	④ おもしろいと思う。	1.8
	⑤ 先生に、もっと注意してほしいと思う。	21.2
	⑥ いっしょになってさわぐ。	1.8
	⑦ ムカつく(腹が立つ)。	15.7

【III】あなたはこの学級の中で誰とよく遊びますか。よく遊ぶ順に友だちの名前を書いて下さい。(自由記述のため、省略)

【IV】①担任の先生がしてくれたことで、あなたが一番うれしかったことは、どんなことですか。②担任の先生に、あなたがしてほしいと思うことはどんなことですか。(自由記述のため、省略)

【V】次の(1)から(9)のことについて、ア・イ・ウ・エの中からあてはまるもの一つ選んで○をつけてください。

	とてもそう思う	少そう思う	あまり思わない	まったく思わない	
(1) あなたの学級は、明るく楽しいと思いますか。	43.5	45.4	8.8	2.3	学級のモラル(士気)
(2) あなたの学級は、よくまとまっていると思いますか。	7.4	37.0	45.9	9.7	平均点
(3) あなたの学級の人たちは、なかよく、助け合っていると思いますか。	19.9	42.2	31.9	6.0	17.6
(4) あなたの学級の人たちは、あなたに親切にしてくれますか。	26.2	40.1	24.8	8.9	標準偏差
(5) あなたは学級のみんなと一緒に、遊んだり活動したりしていますか。	43.1	41.2	12.5	3.2	4.6
(6) あなたの学級には、あなたが、「いい人だな」と思う人がいますか。	44.9	33.8	15.7	5.6	
(7) あなたは、学校で勉強していて、わかってくと楽しいと思いますか。	52.1	32.1	11.6	4.2	
(8) あなたは、授業中、先生にあてられるのは、好きですか。	19.0	25.0	31.5	24.5	
(9) あなたは、もっと勉強してよい成績をとろうと努力していると思いますか。	41.7	37.0	16.7	4.6	

(表中の数字は、項目毎の218名の選択肢別回答率。)

次に示す表は、第1回質問紙調査における項目間相関の内、学級のモラル(士気)および教師との関係を軸に他項目の相関を示したものである。

学級のモラル(士気)と他の項目との相関		教師との関係と他の項目との相関		
イライラ感	* 学級のモラル	-0.47	イライラ感 * 教師との関係	-0.44
不安・抑うつ感	* 学級のモラル	-0.31	不安・抑うつ感 * 教師との関係	-0.15
自己肯定感	* 学級のモラル	0.53	自己肯定感 * 教師との関係	0.48
集団の影響性	* 学級のモラル	0.20	集団の影響性 * 教師との関係	0.07
遊び	* 学級のモラル	0.33	遊び * 教師との関係	0.14
教師との関係	* 学級のモラル	0.57	教師との関係 * 教師との関係	0.57

調査のお願い

(保護者用)

都立教育研究所では、特別研究として、「子どもたちの揺れ動く心と学校の在り方」を主題として、研究を行っています。今回、子どもたちの心の揺れと学校におけるきまりの指導とのかかわりを把握したいと考え、本調査をお願いすることにいたしました。

この調査結果は、研究の目的以外に使用することはありません。あなたのお考えになっていることやお感じになっていることを、そのままお答えくださいますようお願いいたします。

- 1 まずはじめに、あなたのお子さんの学年、あなたの性別、年代をお聞きます。同じ学校に複数のお子さんが通っている場合、その学年を全部お書きください。

- 1 学年 () () () 年生
 2 あなたの性別 ()
 3 あなたの年代
 1 30歳未満 2 30歳～39歳 3 40歳～49歳
 5 50歳以上

- 2 あなたのお子さんの学校のきまりについて、お聞きます。

当てはまるものに○をつけてください。

- 1 あなたのお子さんの学校の子どもの様子から考えて次のことについてお答えください。
- 1 あいさつや言葉づかいについて教えることが
 とても必要 必要 どちらとも言えない 必要でない 全然必要ない
 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- 2 時間を守ることや遅刻について教えることが
 とても必要 必要 どちらとも言えない 必要でない 全然必要ない
 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- 3 静かに話を聞くことや姿勢について教えることが
 とても必要 必要 どちらとも言えない 必要でない 全然必要ない
 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- 4 係や当番など仕事に対する態度について教えることが
 とても必要 必要 どちらとも言えない 必要でない 全然必要ない
 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- 5 忘れ物について教えることが
 とても必要 必要 どちらとも言えない 必要でない 全然必要ない
 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- 6 きまりを守ることを教えることが
 とても必要 必要 どちらとも言えない 必要でない 全然必要ない
 1 — 2 — 3 — 4 — 5

- II あなたのお子さんの学校の指導について伺います。

- 1 あいさつや言葉づかいについてあなたのお子さんの学校の指導は
 とても厳しい 厳しい どちらとも言えない あまり厳しくない 厳しくない
 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- 2 時間を守ることや遅刻についてあなたのお子さんの学校の指導は
 とても厳しい 厳しい どちらとも言えない あまり厳しくない 厳しくない
 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- 3 静かに話を聞くことや姿勢についてあなたのお子さんの学校の指導は
 とても厳しい 厳しい どちらとも言えない あまり厳しくない 厳しくない
 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- 4 係や当番など仕事に対する態度についてあなたのお子さんの学校の指導は
 とても厳しい 厳しい どちらとも言えない あまり厳しくない 厳しくない
 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- 5 忘れ物をすることについてあなたのお子さんの学校の指導は
 とても厳しい 厳しい どちらとも言えない あまり厳しくない 厳しくない
 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- 6 きまりを守ることにあなたのお子さんの学校の指導は
 とても厳しい 厳しい どちらとも言えない あまり厳しくない 厳しくない
 1 — 2 — 3 — 4 — 5

- III 次のことは、学校と家庭のどちらが教えることか、あなたの考えを伺います。

二つのことばの間で、あなたの考えに近いところに○をつけてください。

- 1 あいさつや言葉づかいは
 学校で どちらかという どちらかという 家庭で
 教えることだと思う 学校で教えることだと思う 家庭で教えることだと思う 教えることだと思う
 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4
- 2 時間を守ることや遅刻についてのきまりは
 学校で どちらかという どちらかという 家庭で
 教えることだと思う 学校で教えることだと思う 家庭で教えることだと思う 教えることだと思う
 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4
- 3 静かに話を聞くことや姿勢については
 学校で どちらかという どちらかという 家庭で
 教えることだと思う 学校で教えることだと思う 家庭で教えることだと思う 教えることだと思う
 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4
- 4 係や当番など仕事に対する態度は
 学校で どちらかという どちらかという 家庭で
 教えることだと思う 学校で教えることだと思う 家庭で教えることだと思う 教えることだと思う
 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4
- 5 忘れ物をしないことは
 学校で どちらかという どちらかという 家庭で
 教えることだと思う 学校で教えることだと思う 家庭で教えることだと思う 教えることだと思う
 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4
- 6 きまりを守ることは
 学校で どちらかという どちらかという 家庭で
 教えることだと思う 学校で教えることだと思う 家庭で教えることだと思う 教えることだと思う
 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4

3 あなたのお子さんは、次のようなことをどのくらいしていますか。当てはまるところに○をつけてください。

- いつもする だいたいする たまにする ぜんぜんしない
- 1 朝、家の人に「おはよう」とあいさつする 1 — 2 — 3 — 4
- 2 自分の服は、自分で片づけたり、洗濯したりする
いつもする だいたいする たまにする ぜんぜんしない
1 — 2 — 3 — 4
- 3 食事の後で、自分の食器を片づけたり洗ったりする
いつもする だいたいする たまにする ぜんぜんしない
1 — 2 — 3 — 4
- 4 自分の勉強道具や身の回りなどを片づけたり掃除したりする
いつもする だいたいする たまにする ぜんぜんしない
1 — 2 — 3 — 4
- 5 家の人のお洗濯する
いつもする だいたいする たまにする ぜんぜんしない
1 — 2 — 3 — 4
- 6 家の人のお洗濯を洗う
いつもする だいたいする たまにする ぜんぜんしない
1 — 2 — 3 — 4
- 7 居間や玄関などの掃除をする
いつもする だいたいする たまにする ぜんぜんしない
1 — 2 — 3 — 4
- 8 トイレや風呂場の掃除をする
いつもする だいたいする たまにする ぜんぜんしない
1 — 2 — 3 — 4
- 9 テレビをみたり、ゲームをする時間を決めて守っている
いつもする だいたいする たまにする ぜんぜんしない
1 — 2 — 3 — 4
- 10 自分で勉強する時間を決めて、守っている
いつもする だいたいする たまにする ぜんぜんしない
1 — 2 — 3 — 4
- 11 寝る時間を決めて、守っている
いつもする だいたいする たまにする ぜんぜんしない
1 — 2 — 3 — 4
- 12 こづかいなどお金の使いみちを決めて、守っている
いつもする だいたいする たまにする ぜんぜんしない
1 — 2 — 3 — 4
- 13 出かけるときには、家の人に行き先を言う
いつもする だいたいする たまにする ぜんぜんしない
1 — 2 — 3 — 4
- 14 間違っただけをして、家の人から注意されたときすぐ謝る
いつもする だいたいする たまにする ぜんぜんしない
1 — 2 — 3 — 4
- 15 学校や地域で間違っただけをしたとき、家の人にうち明ける
いつもする だいたいする たまにする ぜんぜんしない
1 — 2 — 3 — 4
- 16 家の人に頼まれたり、約束したりしたことは必ずする
いつもする だいたいする たまにする ぜんぜんしない
1 — 2 — 3 — 4

4 あなたのお子さんは、次のようなことをどのくらいしているとお考えですか。当てはまるところに○をつけてください。

- いつもする だいたいする たまにする ぜんぜんしない
- 1 近所の人に会ったときあいさつする 1 — 2 — 3 — 4
- 2 迷惑をかけて大人の人から注意されたときすぐ謝る
いつもする だいたいする たまにする ぜんぜんしない
1 — 2 — 3 — 4
- 3 道路や公園の使い方のきまりを守っている
いつもする だいたいする たまにする ぜんぜんしない
1 — 2 — 3 — 4
- 4 お祭りなど地域の行事に参加する
いつもする だいたいする たまにする ぜんぜんしない
1 — 2 — 3 — 4
- 5 地域で道路や公園の清掃、古紙回収、などに参加している
いつもする だいたいする たまにする ぜんぜんしない
1 — 2 — 3 — 4
- 6 近所に気軽に話せ、相談できる人がいる
いつもする だいたいする たまにする ぜんぜんしない
1 — 2 — 3 — 4

5 あなたのお子さんの学校生活であてはまるところに○をつけてください。

- 強く まあ どちらとも あまりそう 全然そう
そう思う そう思う いえない 思わない 思わない
- 1 勉強が楽しいと思っている 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- 2 授業がよくわかっている 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- 3 明るく楽しい友だちづきあいをしている 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- 4 たくさんの友だちがこの学校にいる 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- 5 悩みを聞いてくれたり、何でも話せる友だちがこの学校にいる 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- 6 この学校に何でも相談できる先生がいる 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- 7 学校の先生と気軽に話せる 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- 8 先生によく質問する 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- 9 きまりを守っている 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- 10 将来に夢や希望をもっている 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- 11 お子さんの学級は明るく楽しい学級である 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- 12 お子さんの学級はよくまとまっている 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- 13 お子さんは学級のみななどいっしょにあそんだりグループ活動をしている 1 — 2 — 3 — 4 — 5

ご協力ありがとうございました

【資料7】集団生活のきまりや基本的な生活習慣についての調査・調査結果(1)

(%)

	教 師					子 ども					保 護 者				
	とても必要	必要	どちらとも言えない	必要でない	全然必要ない	とても必要	必要	どちらとも言えない	必要でない	全然必要ない	とても必要	必要	どちらとも言えない	必要でない	全然必要ない
あいさつや言葉遣いの指導	20.1	71.5	5.6	2.8	0.0	18.2	43.4	29.7	6.3	1.9	32.8	50.5	13.4	3.0	0.3
時間を守ることや遅刻についての指導	16.7	64.5	13.9	4.2	0.7	23.1	43.3	22.0	7.3	3.6	27.6	54.2	12.4	5.0	0.6
静かに話を聞くことや姿勢の指導	32.6	57.6	6.9	2.1	0.7	27.2	44.2	22.7	4.3	1.3	30.4	55.1	10.4	3.2	0.5
係や当番など仕事に対する態度の指導	10.4	68.7	18.1	2.8	0.0	18.0	40.1	29.4	9.3	2.7	19.2	57.6	17.2	4.2	0.6
忘れ物の指導	14.6	67.3	17.4	0.7	0.0	21.3	42.8	27.0	6.0	2.7	18.4	57.4	19.3	4.2	0.2
きまりを守る指導	11.1	72.9	13.2	2.8	0.0	38.2	37.1	17.7	4.3	2.5	33.1	52.1	11.2	3.0	0.2

(%)

	教 師					子 ども					保 護 者				
	とても厳しい	厳しい	どちらとも言えない	あまり厳しくない	厳しくない	とても厳しい	厳しい	どちらとも言えない	あまり厳しくない	厳しくない	とても厳しい	厳しい	どちらとも言えない	あまり厳しくない	厳しくない
あいさつや言葉遣いの指導	1.4	16.0	46.5	34.0	2.1	11.5	31.0	40.6	13.1	3.3	1.4	18.7	60.7	17.7	1.1
時間を守ることや遅刻についての指導	0.0	18.1	51.3	28.5	2.1	6.3	28.3	47.6	12.0	5.2	1.5	25.1	61.6	11.0	0.5
静かに話を聞くことや姿勢の指導	1.4	29.9	49.9	17.4	1.4	15.6	46.4	30.3	6.0	1.1	2.6	34.6	51.2	10.0	1.1
係や当番など仕事に対する態度の指導	0.0	13.9	63.2	21.5	1.4	11.4	36.3	40.4	7.9	2.4	1.5	24.9	59.8	12.1	0.8
忘れ物の指導	0.7	11.1	66.0	20.8	1.4	12.3	35.2	35.2	13.6	3.3	2.6	20.4	59.5	16.3	1.1
きまりを守る指導	0.7	26.4	57.6	14.6	0.7	20.9	40.6	31.9	5.5	0.9	1.8	38.4	49.4	8.9	0.5

(%)

	教 師				子 ども				保 護 者			
	学校で指導することだと思う	どちらかという学校で指導することだと思う	どちらかという家庭で教えることだと思う	家庭で教えることだと思う	学校で指導することだと思う	どちらかという学校で指導することだと思う	どちらかという家庭で教えることだと思う	家庭で教えることだと思う	学校で指導することだと思う	どちらかという学校で指導することだと思う	どちらかという家庭で教えることだと思う	家庭で教えることだと思う
あいさつや言葉遣いの指導	0.0	3.5	75.0	14.6	10.3	25.3	45.0	18.2	0.0	2.4	57.6	36.6
時間を守ることや遅刻についての指導	2.1	34.0	48.6	9.0	21.2	40.9	25.8	10.4	1.1	19.3	52.4	22.5
静かに話を聞くことや姿勢の指導	6.9	60.4	24.3	4.9	30.0	40.3	20.9	7.9	3.8	43.4	34.7	13.4
係や当番など仕事に対する態度の指導	19.4	66.7	9.7	2.1	41.1	45.0	9.6	3.0	10.4	69.9	12.1	3.5
忘れ物の指導	3.5	22.2	50.7	19.4	16.6	36.3	32.5	12.8	1.2	13.1	53.6	27.3
きまりを守る指導	6.3	44.4	32.6	13.2	28.4	34.6	22.3	13.4	2.9	22.8	40.6	27.6

(%)

	教 師				子 ども				保 護 者			
	ほとんどがしていると思う	していると思う	どちらかという半数くらいだと思う	していると思う	ほとんどがしていると思う	していると思う	どちらかという半数くらいだと思う	していると思う	ほとんどがしていると思う	していると思う	どちらかという半数くらいだと思う	していると思う
朝、家の人に「おはよう」とあいさつする	16.7	57.6	22.9	1.4	57.7	23.2	14.4	4.6	47.3	36.4	13.9	2.3
自分の服は自分で片づけたり洗濯する	2.1	19.4	59.0	13.9	6.6	23.7	42.8	26.7	3.5	16.6	47.0	30.4
食事の後で自分の食器を片づけたり洗う	1.4	22.2	66.0	5.6	6.6	28.9	40.1	13.3	11.0	26.9	49.1	11.5
自分の机や部屋を片づけたり掃除する	0.7	43.8	51.4	2.8	18.3	34.0	39.3	7.6	9.4	29.5	50.9	8.9
家の人の衣類を洗濯する	0.0	1.4	36.8	54.9	2.7	6.2	28.4	62.4	0.8	0.8	6.2	92.3
家の人の食器を洗う	0.0	2.1	75.7	18.1	4.6	15.5	51.7	27.6	0.8	3.0	52.3	43.8
居間や玄関などの掃除をする	0.0	2.8	80.6	13.9	4.1	12.3	42.8	39.2	1.4	1.4	41.4	54.7
トイレや風呂場の掃除をする	0.0	6.9	77.1	13.2	9.0	21.8	41.5	26.5	3.8	7.3	45.2	43.5
TVを見たリゲームをする時間を決めて守る	3.5	59.7	34.7	2.1	22.7	21.8	26.7	27.5	15.3	41.4	29.6	13.1
自分で勉強をする時間を決めて守る	1.4	47.9	45.8	2.1	22.1	23.2	28.8	25.0	11.0	36.4	34.3	17.8
寝る時間を決めて守る	9.7	62.5	25.7	0.7	19.7	22.1	25.4	31.8	17.5	50.5	21.8	10.0
小遣いなどお金の使い道を決めて守る	7.6	55.6	24.3	4.2	32.1	28.0	21.8	16.0	23.7	42.0	19.5	10.7
出かけるときには家の人に行き先を言う	39.6	46.5	11.1	1.4	54.3	22.7	15.5	7.0	68.7	25.5	4.8	0.3
間違ったことをして家の人に注意されたときすぐ謝る	1.8.8	59.7	19.4	1.4	28.8	42.2	23.7	4.6	22.5	54.4	19.8	2.6
学校や地域で間違ったことをしたとき、家の人にうち明ける	7.6	52.1	34.7	2.8	21.8	35.7	30.8	10.9	18.6	47.0	28.9	4.1
家の人に頼まれたり、約束したことは必ず守る	25.0	60.4	11.1	0.7	34.8	45.5	17.5	1.7	19.3	63.0	16.5	0.5

(%)

	教 師				子 ども				保 護 者			
	ほとんどがしていると思う	していると思う	どちらかという半数くらいだと思う	していると思う	ほとんどがしていると思う	していると思う	どちらかという半数くらいだと思う	していると思う	ほとんどがしていると思う	していると思う	どちらかという半数くらいだと思う	していると思う
近所の人に会ったときあいさつする	4.9	65.3	27.8	0.7	50.4	33.2	12.5	3.5	30.7	51.8	15.4	1.4
迷惑をかけて大人の人から注意されたときすぐ謝る	13.9	58.3	25.0	1.4	40.3	39.0	15.0	4.7	21.6	58.6	16.8	0.9
道路や公園の使い方のきまりを守る	20.1	63.9	14.6	0.7	34.4	41.7	17.2	5.8	27.9	63.4	7.7	0.3
お祭りなど地域の行事に参加する	25.7	64.6	8.3	0.7	29.9	42.3	22.3	5.1	23.0	46.8	27.0	2.6
地域で道路や公園の清掃、古紙回収などに参加している	2.1	33.3	55.6	4.2	7.4	13.6	26.5	51.7	4.6	13.1	28.7	51.5

(%)

	教 師				子 ども				保 護 者			
	たくさんいる	数人いる	一人いる	全然いない	たくさんいる	数人いる	一人いる	全然いない	たくさんいる	数人いる	一人いる	全然いない
近所に気軽に話せ、相談できる人がいる	17.5	48.2	8.4	25.1	7.6	58.2	11.0	21.0	11.2	53.3	10.6	22.4

※上記データでは、無回答者を割愛している

【資料8】 集団生活のきまりや基本的な生活習慣についての調査・調査結果(2)

教師・子ども・保護者の「きまり」に関する意識調査－各項目の平均値

	教師	子ども	保護者	*
「指導の必要性」6項目全体の合計	23.95	22.69	24.14	**
「指導の厳しさについて」6項目全体の合計	17.70	20.72	18.89	**

		教師	保護者	*
指導の 必要性 につい て	あいさつや言葉遣いの指導	4.09	4.12	ns
	時間を守ることや遅刻についての指導	3.92	4.03	ns
	静かに話を聞くことや姿勢の指導	4.19	4.10	ns
	係や当番など仕事に対する態度の指導	3.87	3.87	ns
	忘れ物の指導	3.96	3.88	ns
	きまりを守る指導	3.92	4.14	**

		教師	保護者	*
指導の 厳しさ につい て	あいさつや言葉遣いの指導	2.81	3.00	**
	時間を守ることや遅刻についての指導	2.85	3.15	**
	静かに話を聞くことや姿勢の指導	3.13	3.26	*
	係や当番など仕事に対する態度の指導	2.90	3.12	**
	忘れ物の指導	2.89	3.07	**
	きまりを守る指導	3.12	3.29	*

		教師	保護者	*
学校・ 家庭の どちら かで教 えるか	あいさつや言葉遣いの指導	2.90	3.24	**
	時間を守ることや遅刻についての指導	2.52	2.87	**
	静かに話を聞くことや姿勢の指導	2.20	2.48	**
	係や当番など仕事に対する態度の指導	1.90	2.00	ns
	忘れ物の指導	2.78	2.98	*
	きまりを守る指導	2.46	2.81	**

		教師	保護者	*
生活習 慣につ いて	朝、家の人に「おはよう」とあいさつする	2.87	3.28	**
	自分の服は自分で片づけたり洗濯する	1.99	1.88	ns
	食事の後に自分の食器を片づけたり洗う	2.09	2.34	**
	自分の机や部屋を片づけたり掃除する	2.39	2.37	ns
	家の人の衣類を洗濯する	1.32	1.10	ns
	家の人の食器を洗う	1.75	1.60	ns
	居間や玄関などの掃除をする	1.83	1.47	ns
	トイレや風呂場の掃除をする	1.88	1.71	**
	TVを見たりゲームをする時間を決めて守る	2.64	2.58	ns
	自分で勉強をする時間を決めて守る	2.43	2.40	ns
	寝る時間を決めて守る	2.78	2.75	ns
	小遣いなどお金の使い道を決めて守る	2.50	2.71	*
	出かけるときには家の人に行き先を言う	3.22	3.61	**
間違ったことをして家の人に注意されたとき きすく謝る	2.94	2.95	ns	
学校や地域で間違ったことをしたとき、家 の人にうち明ける	2.59	2.77	*	
家の人に頼まれたり、約束したことは必ず 守る	3.04	3.00	ns	

		教師	保護者	*
地域で の生活 につい て	近所の人に出会ったときあいさつする	2.72	3.10	**
	迷惑をかけて大人の人から注意されたとき きすく謝る	2.82	2.97	*
	道路や公園の使い方のきまりを守る	3.02	3.18	**
	お祭りなど地域の行事に参加する	3.14	2.89	ns
	地域で道路や公園の清掃、古紙回収などに 参加している	2.23	1.66	**
	近所に気軽に話せ、相談できる人がいる	2.15	2.47	**

* 5%水準で有意差あり ns 有意差なし
** 1%水準で有意差あり

引用・参考文献

- 東京都教育庁「小学校における学級経営にかかわる調査」 1999年
- 東京都生活文化局「東京都子ども基本調査」 1999年
- 東京都福祉局「最近の思春期児童の行動（キレる子現象）に関する報告集」 1998年
- 学級経営研究会「学級経営をめぐる問題の現状とその対応－関係者間の信頼と連携による魅力ある学級づくり－」（学級経営の充実に関する調査研究・中間報告書） 1999年
- 近藤邦夫・沢崎俊之・斉藤憲司・高田治「教師－児童関係と児童の適応 1 ー教師の儀式化の観点からー」 東京大学教育学部紀要vol.28 1988年
- 近藤邦夫「子どもと教師のもつれ」 岩波書店 1995年
- 狩野素朗「個と集団の社会心理学」 ナカニシヤ出版 1994年
- 河村茂雄「学級のモラールを診断するチェックリスト」 児童心理臨時増刊689 1997年
- 河村茂雄・田上不二夫「教師の教育実践に関するビリーフの強迫性と児童のスクールモラールとの関係」 教育心理学研究vol.45 1997年
- 浦野裕司『「教師と子どものよりよい人間関係をめざした指導・援助の在り方に関する実証的研究」－「学級の荒れ」に対する教師のかかわり方をめぐって－』 東京都教員研究生研究報告書 1998年
- 正木健雄「“荒れ”につながる体の問題－教育生理学からの一考察－」現代と教育vol35 桐書房 1996年
- 田上不二夫監修 河村茂雄著「楽しい学校生活を送るためのアンケート」 育てるカウンセリングツールシリーズ 國分康孝総監修 図書文化社 1998年
- 國分康孝監修 河村茂雄著「崩壊しない学級経営をめざして ー教師・学級集団のタイプでみる学級経営」 学事出版 1998年
- 古市裕一・國房京子「小学生の学校ざらい感情と教師の指導的態度 ーストレス理論からの検討ー」 岡山大学教育学部研究収録vol.107 1998年
- 田中熊次郎「増訂 ソシオメトリーの理論と方法」 明治図書 1966年
- 倉島純子「教師の指導行動に対する教師と児童の学級適応感の関係 日本教育心理学会第38回総会発表論文集 1996年
- 嶋野重行「小学校教師の指導的態度と『問題行動』認知の関連（1）」 日本教育心理学会第31回総会発表論文集 1989年

指導資料

11 教研 - 4

「特別研究」第2年次研究報告書

子どもたちの揺れ動く心と学校の在り方

—小学校における授業妨害・拒否の問題を中心に—

平成12年（2000年）3月発行

編集・発行 東京都立教育研究所（事務局 特別研究推進室）
所在地 〒153-8939 東京都目黒区目黒1-1-14
直通電話 03（5434）1988



古紙配合率70%再生紙を使用しています